

防爆バレット型カメラ

クイックスタートガイド

本マニュアルについて

本マニュアルは、防爆バレット型カメラに適用されます。

本マニュアルには、製品の使用および管理の手順が記載されています。これ以降の写真、グラフ、画像、その他すべての情報は説明のみを目的としています。本マニュアルに記載されている情報は、ファームウェアのアップデートまたはその他の理由により、予告なく変更されることがあります。本ユーザーマニュアルは、専門家の指導の下で使用してください。

規制情報

FCC 情報

法規制遵守の責任者が明示的に承認していない変更や改造を加えた場合は、本装置を使用する権利を剥奪されることがありますのでご注意ください。

FCC 遵守：本装置は、FCC 規格 Part 15 に基づくクラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることが試験で確認されています。これらの制限は、装置が商業環境で操作された場合に、有害な干渉から適切に保護されるように設計されています。本装置は無線周波エネルギーを発生および使用し、場合によっては放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置、使用しない場合は無線通信に干渉する可能性があります。住宅街で本装置を操作すると、有害な電波干渉が発生する可能性があります。この場合、ユーザーは自費にて電波干渉を修正する必要があります。

FCC 条件

このデバイスは FCC 規格 Part 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件の対象となります。

- 1.このデバイスは有害な電波干渉を引き起こさないこと。
- 2.このデバイスは誤動作の原因となる電波干渉を含め、受信されたすべての電波干渉に対して正常に動作すること。

EU 適合宣言



この製品および付属アクセサリも「CE」とマークされているため、EMC 指令 2014/30/EU、LVD 指令 2014/35/EU、RoHS 指令 2011/65/EU、ATEX 指令 2014/34/EU に記載されている該当する欧州整合規格に準拠しています。



2012/19/EU (WEEE 指令)：この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) では未分別の自治体廃棄物として処分できません。適切にリサイクルを行うため、同等の新品装置を購入した場合には、本製品を現地のサプライヤーに返却するか、指定された回収場所で廃棄してください。詳細については、以下を参照してください。www.recyclethis.info



2006/66/EC (バッテリー指令)：本製品には、欧州連合域内で未分別の自治体廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。具体的なバッテリー情報については、製品のマニュアルを参照してください。バッテリーにはこの記号が付いています。この記号には、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字が含まれている場合があります。適切にリサイクルを行うために、バッテリーをサプライヤーまたは指定の回収場所に返却してください。詳細は、www.recyclethis.info をご参照ください。

インダストリーカナダICES-003準拠

このデバイスは、CAN ICES-3 (A) /NMB-3 (A) 規格の要件を満たしています。

カメラの用途

ATEX： II 2GD Ex op is db IIC T6 Gb /Ex tb op is IIIC T80 ° C Db

IECEx：Ex db op is IIC T6 Gb /Ex tb op is IIIC T80° C Db

危険区域分類：ゾーン1、ゾーン2、ゾーン21、ゾーン22

IP等級：IP68 (1m、1h)

Ex標準：

IEC 60079-0: 2011

EN 60079-0：2012/A11：2013

IEC 60079-1 : 2014 EN 60079-1 : 2014




IEC 60079-31 : 2013 EN 60079-31 : 2014

IEC 60079-28 EN 60079-28

安全に使用するための特別な条件

1. 周囲温度：-40° C~+60° C
2. 通電しているときは開けないでください
3. 静電帯電の危険の可能性 - 手順を参照してください
4. 操作者は、組み立て、操作、および保守の際に、次の要求事項に従う必要があります。IEC 60079-14：爆発性のある大気の詳細バージョン - パート14：電気設備の設計、選択、および設置（製造業者の操作説明書の他）または同等の国内規格。
5. 修理およびオーバーホールは、IEC 60079-19：最新バージョンまたは同等の国内規格に従う必要があります。

防爆バレット型カメラの銘板



<p>Explosion-Proof Bullet Camera</p> <p>Product Model: HEICC-2736-WI</p> <p>Protection Level:IP68 Ta: -40℃~+60℃</p> <p>Working Voltage:AC100~240V Working Current: ≤1000mA</p> <p>Product No.: XXXXXXXXX Date of Production: 11/2016</p>	<p>CML 18ATEX1403X</p> <p> II 2 G Ex db op is II C T6 Gb</p> <p> II 2 D Ex tb op is III C T80℃ Db</p> <p>IECEX CML 18.0212X</p> <p>Ex db op is II C T6 Gb</p> <p>Ex tb op is III C T80℃ Db</p> <p> 0470</p> <p>WARNING: DO NOT OPEN WHEN EXPLOSIVE ATMOSPHERE IS PRESENT</p>
<p>Honeywell Security (China) Co., Ltd. Block 21, 22, 28, Section 2 Huaide Cuigang Industrial Estate Fu Yong, Bao An, Shenzhen, CN-518103 P.R. CHINA</p>	

安全の手引き

これらの手順は、危険や財産の損失を回避できるようにユーザーが製品を正しく使用することを目的としています。予防措置は、「警告」と「注意」に分かれています。

警告：警告を無視すると、重傷や死亡につながる恐れがあります。

注意：いずれかの注意を怠った場合、怪我や装置の損傷が発生する可能性があります。

	
警告は、重傷や死亡を防止するために、指定の安全措置に従います。	注意は、怪我や材料の損傷を防ぐために、指定の注意事項に従います。



警告

- アース：
 - 内部アースと外部アースの両方を確実に接続する必要があります。
 - アース線の断面積が、位相コネクタの断面積レベル（4 mm²以上）を下回っていないこと。
- すべての電気作業は、国および地域の電気安全規則、防火規則、およびその他の関連する規制に厳密に準拠している必要があります。
- カメラの配線、取り付け、または分解を行う前に、電源が切断されていることを確認してください。爆発性のある環境では、カメラの配線、取り付け、または分解を行わないでください。
- カメラを壁または天井に取り付ける場合は、デバイスをしっかりと固定してください。
- カメラから煙、異臭、ノイズが発生した場合は、電源を直ちにオフにして電源ケーブルを外し、サービスセンターに連絡してください。
- カメラが正しく動作しない場合は、販売店または最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。カメラを自分で分解しようとししないでください。（当社は、無断で修理または保守を行ったことによって発生した問題について一切責任を負いません。）
- 設置は、該当する国の規制に従って、有資格者のみが行うことができます。
- 容易にアクセスできる電源切断装置を装置の外部に組み込む必要があります。



注意

- カメラがネットワークのローカル時刻と同期しない場合は、手動でカメラの時刻を設定する必要があります。カメラにアクセスして（Web ブラウザまたはクライアント ソフトウェアを使用）、時間設定用のシステム設定インターフェースを表示します。
- カメラを使用する前に、電源電圧が正しいことを確認してください。
- カメラを落としたり物理的な衝撃を与えたりしないでください。
- 防爆性能を確保するため、防爆面を損傷しないでください。

- カメラを太陽や著しく明るい場所に向けないでください。明るい場所にカメラを向けると、ブルーミングまたはスミアリングが発生し（誤動作ではありません）、同時にセンサーの耐久性に影響を与える場合があります。
- カメラを極端に高温、低温（動作温度は $-40^{\circ}\text{C}\sim+60^{\circ}\text{C}$ ）の場所や、埃または湿気の多い場所に設置しないでください。また、強力な電磁波放射源にさらさないでください。
- 装置の温度上昇を防ぐため、運転環境には十分な換気が必要です。
- 使用中はカメラが液体に触れないようにしてください。
- 配送中は、カメラは当初の荷姿、または同じ構造の荷姿で梱包するものとします。
- 定期的な部品交換：装置の一部の部品（電解コンデンサなど）は、平均耐用時間に従って定期的に交換する必要があります。平均時間は、動作環境と使用状況の違いによって異なります。したがって、すべてのユーザーが定期的なチェックを行うことをお勧めします。詳細については、販売店にお問い合わせください。
- バッテリーを誤った方法で使用または交換すると、爆発の危険があります。交換する場合は、同じ種類または同等の種類のみとします。使用済みのバッテリーは、バッテリーの製造業者の指示に従って廃棄してください。

目次

1 概要	1
1.1 はじめに	1
1.1.1 電源	1
1.1.2 防爆パラメータ	1
1.1.3 外観仕様	1
1.1.4 作業環境	1
1.2 モデルの説明	1
1.3 外観の説明	1
1.4 ケーブルの説明	3
2 設置	4
壁面取り付け	4
3 LAN 経由のネットワーク カメラの設定	9
3.1 配線	9
3.2 カメラの起動	9
3.2.1 Web ブラウザによる起動	10
3.2.2 SADP ソフトウェアによる起動	10
3.3 IP アドレスの変更	11
4 Web ブラウザによるアクセス	13

1 概要

1.1 はじめに

防爆バレット型カメラは、ビデオ/音声収集、スマート エンコード、およびネットワーク送信が可能な監視製品です。組込みシステムと高性能ハードウェア処理プラットフォームを採用して、安定性と信頼性を高めています。

Web ブラウザとクライアント ソフトウェアを使用してカメラにアクセスし、設定することができます。

防爆ネットワーク カメラは、ステンレス スチール筐体を採用し、IP68 等級の保護等級を実現しています。

1.1.1 電源

電源の詳細については、「防爆バレット型カメラの銘板」を参照してください。

1.1.2 防爆パラメータ

防爆パラメータの詳細については、**防爆バレット型カメラの銘板**を参照してください。

1.1.3 外観仕様

- 材料：316L ステンレス スチール。

1.1.4 作業環境

- 高度（海拔）：2000m 以内。
- 湿度：95%以内。
- 気温：**防爆バレット型カメラの銘板**を参照してください。

注記：

ユーザーの安全とカメラの防爆性能を確保するには、設置環境が、購入したカメラの設置要件を満たしている必要があります。

1.2 モデルの説明

製品の名前は、Figure 1-1 に示すルールを使用しています。

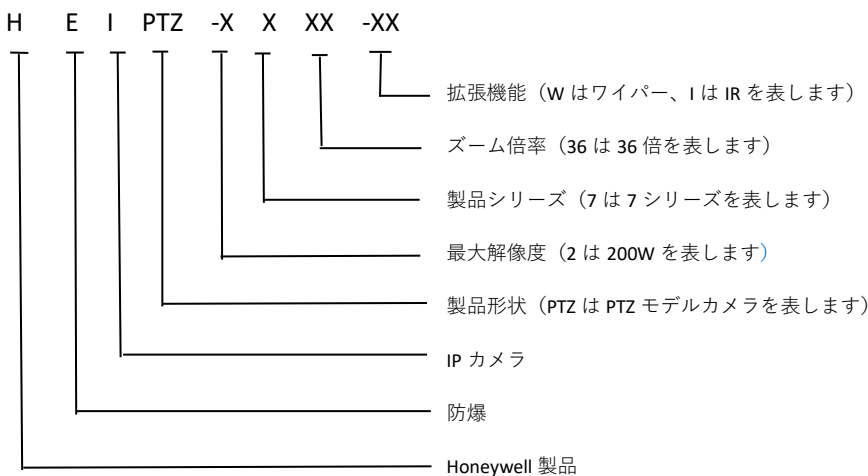


Figure 1-1 モデルの説明

1.3 外観の説明

このカメラのシリーズは、次の 4 種類の外観から選択できます。

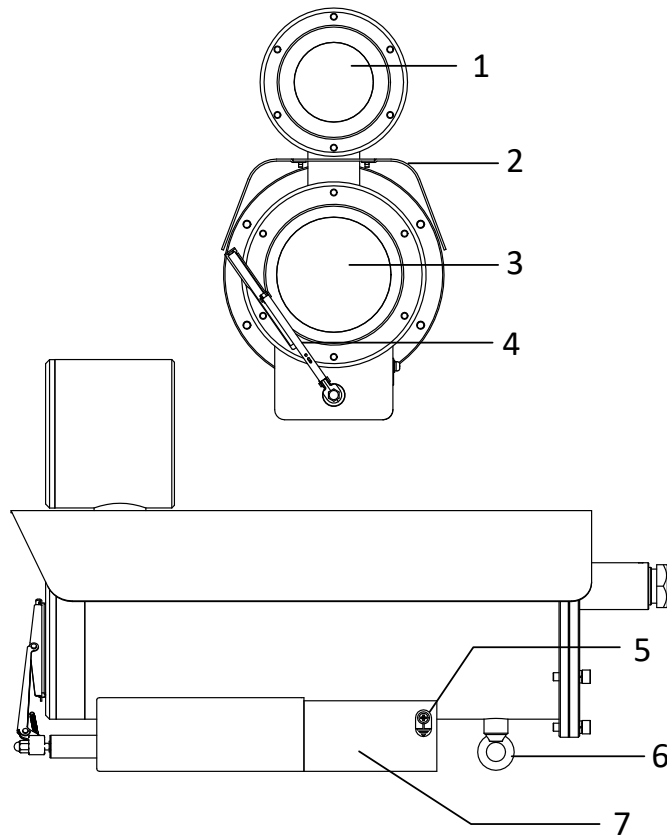


Figure 1-2 バレット型カメラの概要

Table 1-1 バレット型カメラの説明

No.	説明	No.	説明
1	IR	5	接地用ネジ
2	サン シールド	6	安全ロープ用リング
3	透明ガラス	7	マウント ベース
4	ワイパー		

1.4 ケーブルの説明

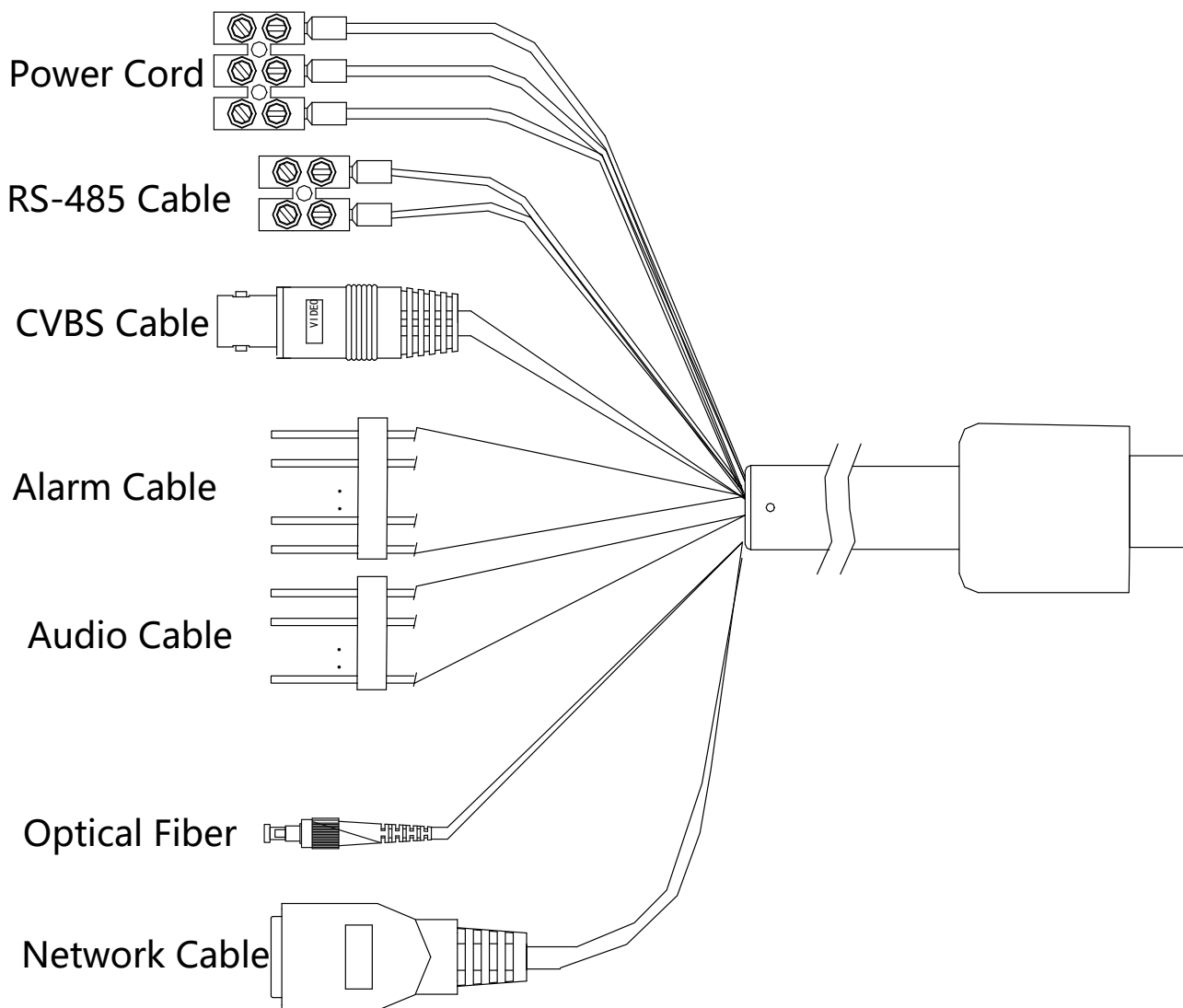


Figure 1-3 ケーブルの説明

注記:

ケーブルは、カメラのモデルによって異なります。

2 設置

開始する前に：

- パッケージ内のデバイスが良好な状態であり、アセンブリ部品がすべて収められていることを確認します。
- 電源がカメラと適合していることを確認してください。それぞれのカメラのモデルの標準電源については、仕様を参照してください。
- 設置中は、関連するすべての装置の電源がオフになっていることを確認してください。
- 製品の仕様が設置環境に適合していることを確認します。
- カメラとブラケットの重量の 8 倍に耐えるだけの強度が壁にあることを確認します。

注記：

下図のように、防水ケーブルを使用してカメラを引っばらないでください。引っばると、防水性能に影響します。

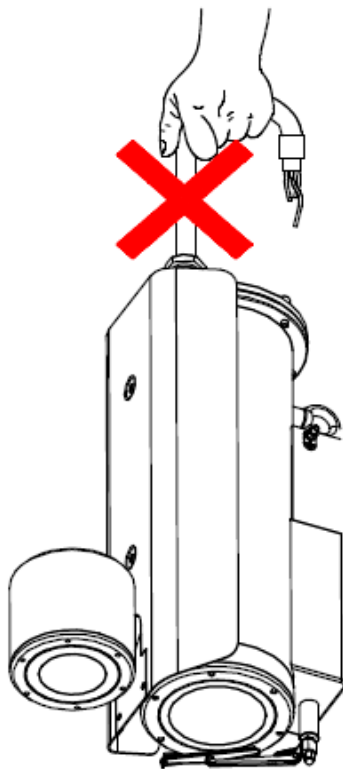


Figure 2-1 ケーブルを引っばらないでください

壁面取り付け

開始する前に：

壁面取り付けブラケットは、パッケージに含まれていません。この取り付けタイプを選択する場合は、壁面取り付けブラケットを準備する必要があります。以下のブラケットは、説明の目的のみで示します。

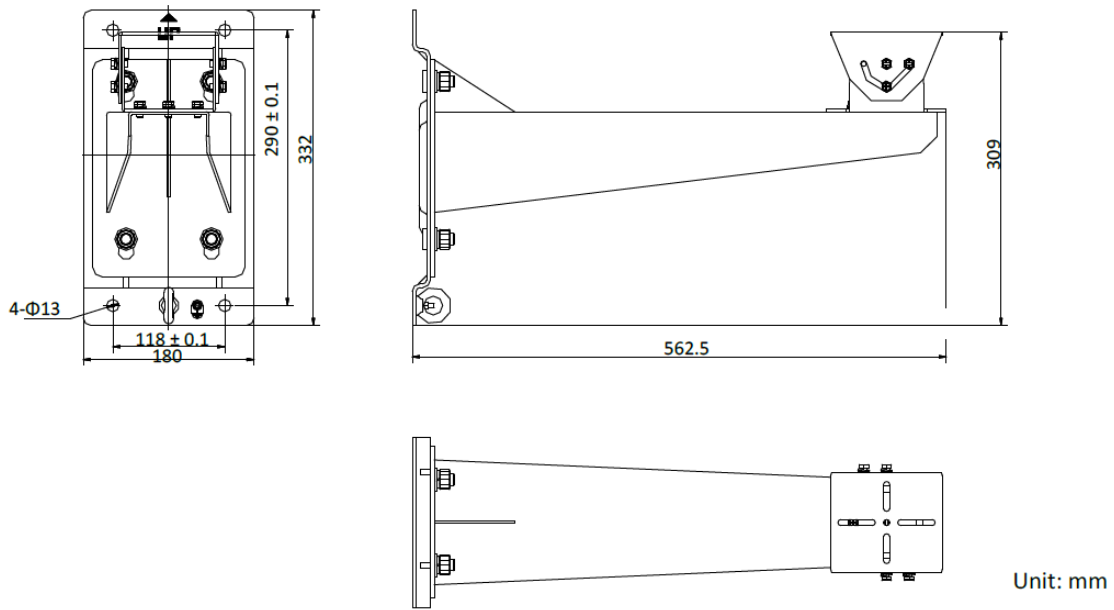


Figure 2-2 壁面取り付けブラケットの寸法 (mm)

注記:

カメラのシリーズの設置の手順は同様です。例としてタイプ III のカメラを使用します。

ステップ:

1. Figure 2-3 に示すように、PT ジョイントを分解します。
2. Figure 2-4 に示すように、4 本の付属ネジを使用して、PT ジョイントの台座をカメラのマウント ベースに取り付けます。

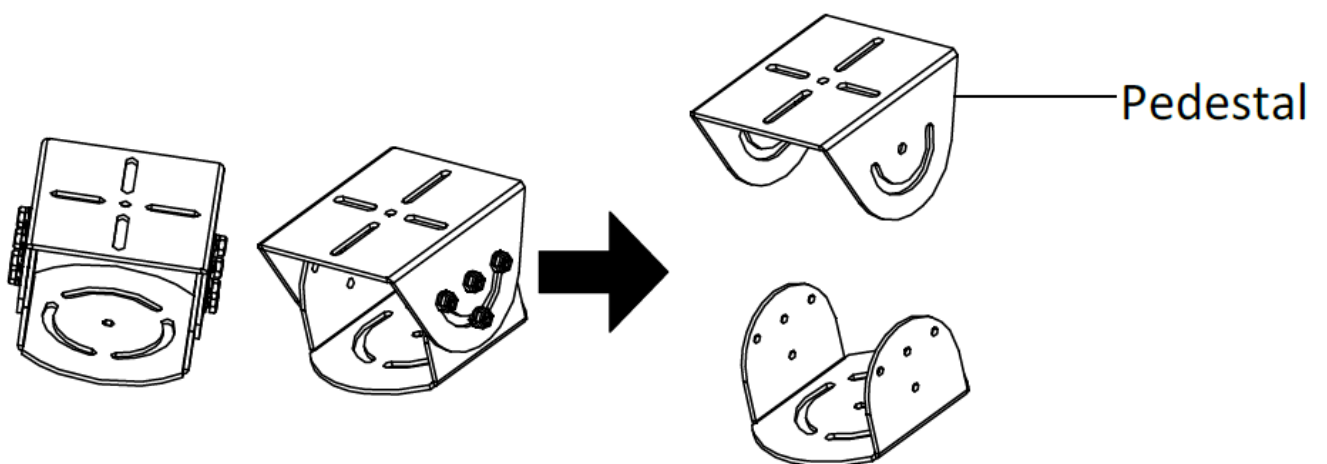


Figure 2-3 PT ジョイント

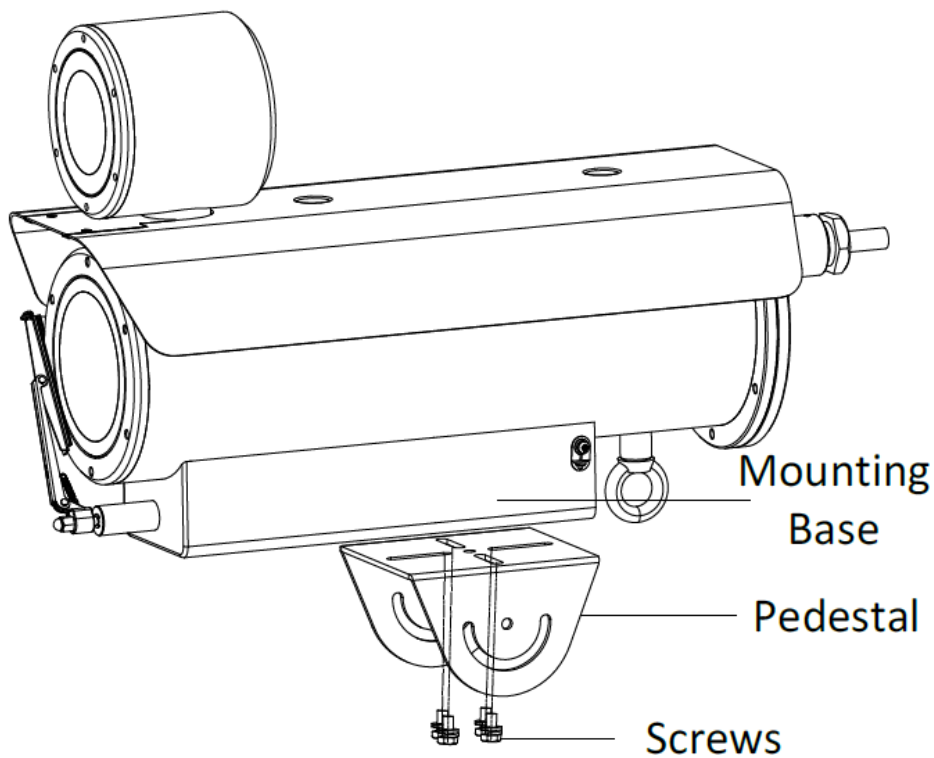


Figure 2-4 台座をカメラに取り付けます

3. 4本の付属ネジを使用して、PT ジョイントを壁面取り付けブラケットに取り付けます。

注記：

取り付け時に、PT ジョイントのパンする位置が目的の角度になるように調整します。

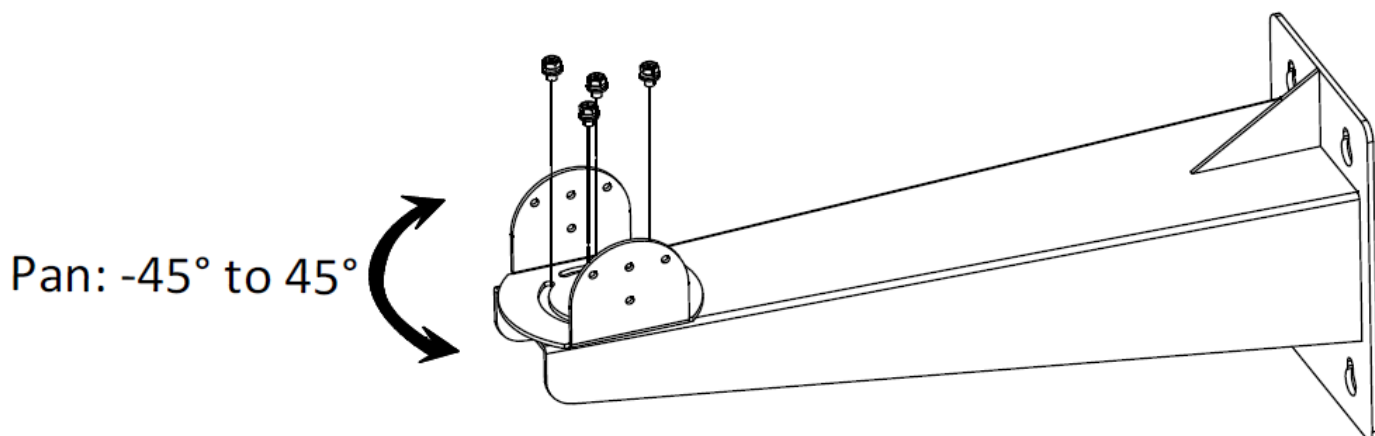


Figure 2-5 PT ジョイントを壁面取り付けブラケットにネジで取り付けます

4. 台座のネジ穴と PT ジョイントのネジ穴の位置を合わせます。ブラケットにカメラを固定します。

注記：

取り付け時に、カメラのチルト位置を目的の角度に調整します。PT ジョイントの両側に少なくとも 3本のネジを使用して、カメラを固定します。

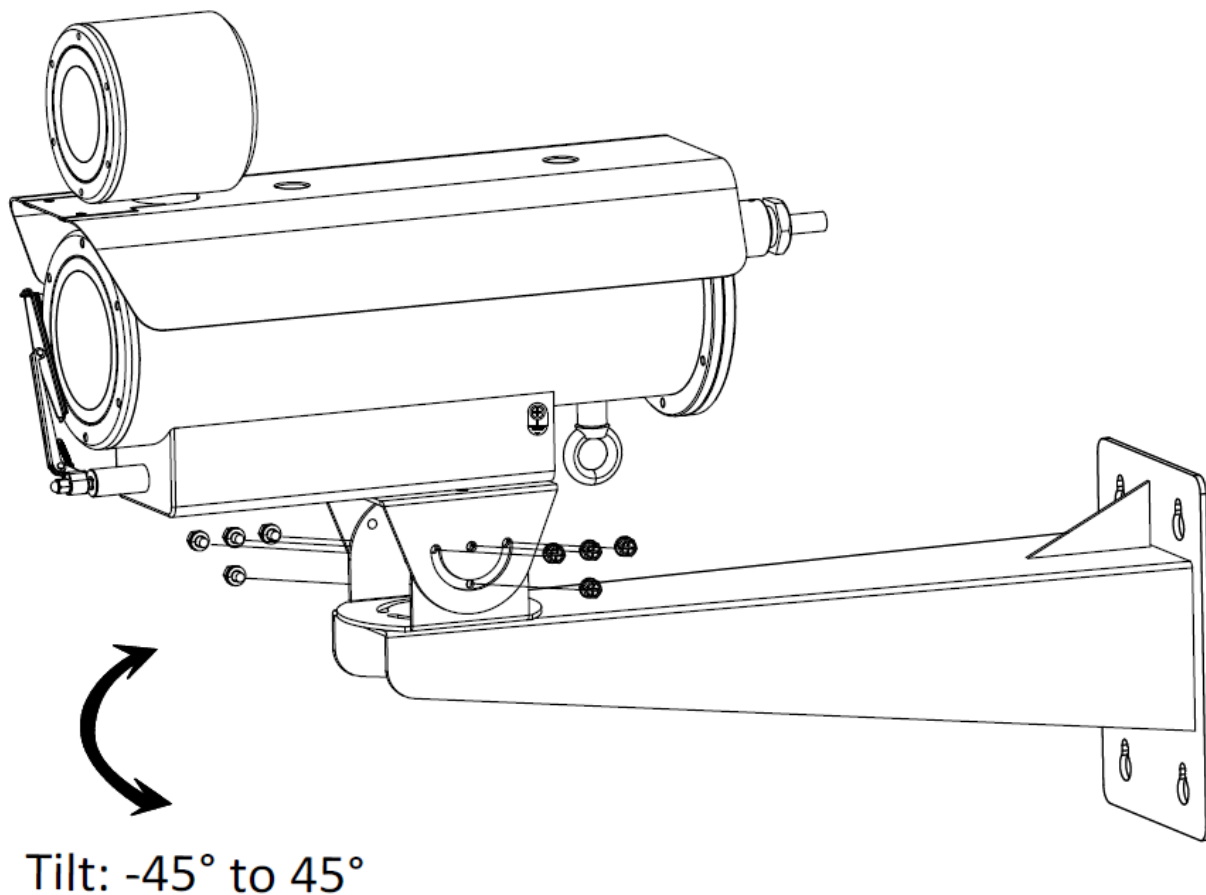


Figure 2-6 カメラを固定する

5. 壁面取り付けブラケットのマウント ベースを取り付けます。

1). マウント ベースの寸法に応じて、壁面の所定の取り付け位置にネジ穴のマーキングをします。

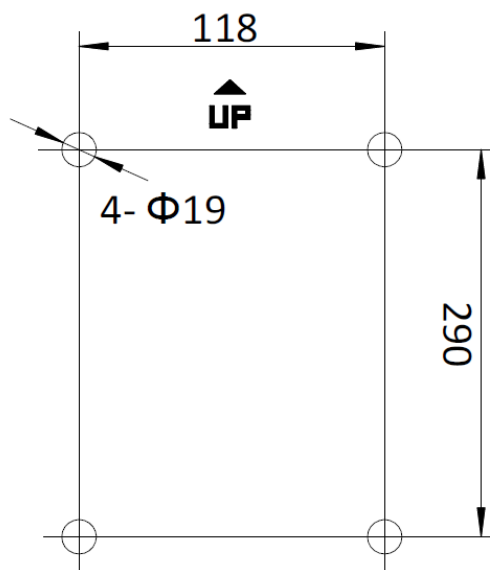


Figure 2-7 ブラケットのマウント ベース寸法

2). 直径 19mm のドリルを使用して、開きボルト用のねじ穴を 4 個開けます。

3). 開きボルトを挿入し、「UP」マークの指示に従ってマウント ベースを固定します。

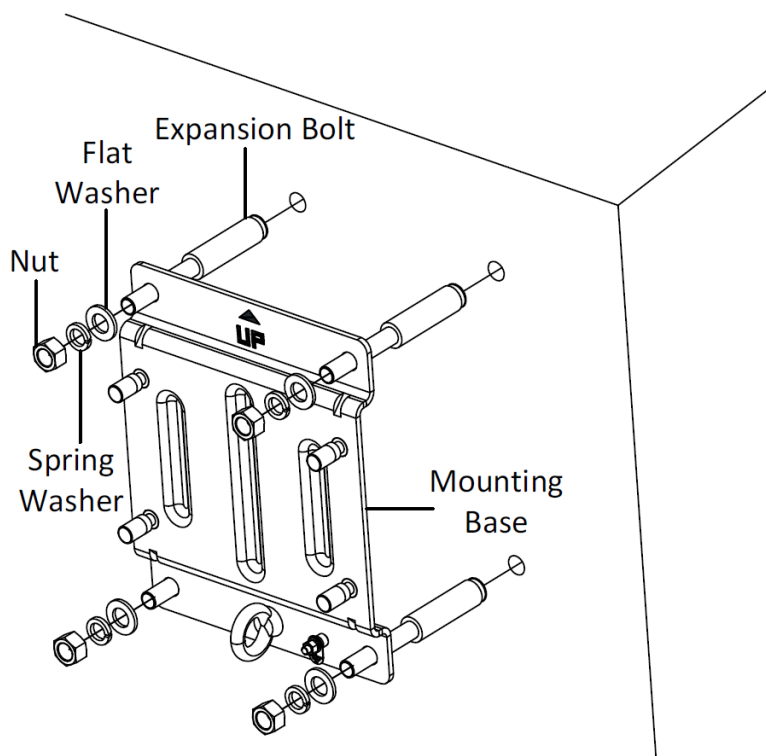


Figure 2-8 ブラケットのマウント ベースを取り付ける

6. 壁面取り付けブラケットをカメラとともにブラケットのマウント ベースに固定します。

- 1). 安全ロープを使用して、カメラとブラケットのマウント ベースを留めます。
- 2). ブラケットをマウント ベースのボルトに通します。ブラケットをナット、スプリング ワッシャ、フラット ワッシャで固定します。

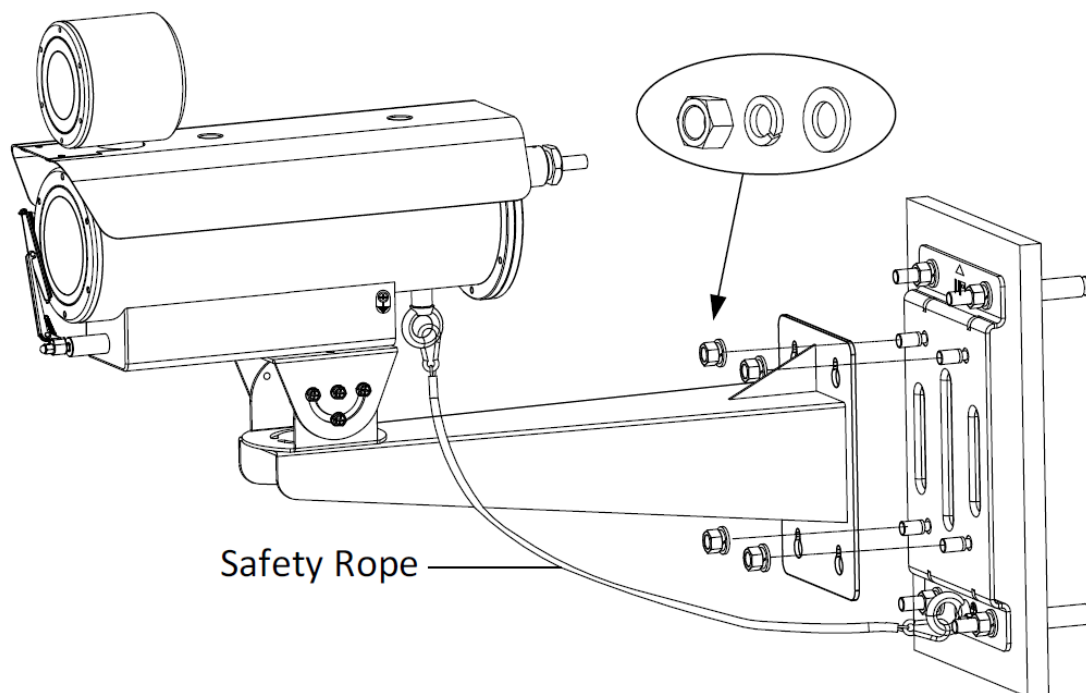


Figure 2-9 壁面取り付けブラケットをマウント ベースに固定する

3 LAN 経由のネットワーク カメラの設定

注記:

- 本製品をインターネットアクセスで使用する場合、ネットワークセキュリティのリスクが発生する可能性があります。これを認識しておく必要があります。ネットワーク攻撃や情報漏洩を回避するために、独自の保護を強化してください。製品が正常に動作しない場合は、取扱店または最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。
- ネットワーク カメラのネットワークのセキュリティを確保するために、適時にカメラの評価と保守を行うことをお勧めします。このようなサービスが必要な場合は、当社までお問い合わせください。

3.1 配線

LAN (ローカル エリア ネットワーク) 経由でネットワーク カメラを表示して設定するには、同じサブネット内のネットワーク カメラを PC に接続する必要があります。次に、SADP またはクライアント ソフトウェアをインストールして、ネットワーク カメラの IP アドレスを検索および変更します。

下図に従って、カメラをネットワークに接続します

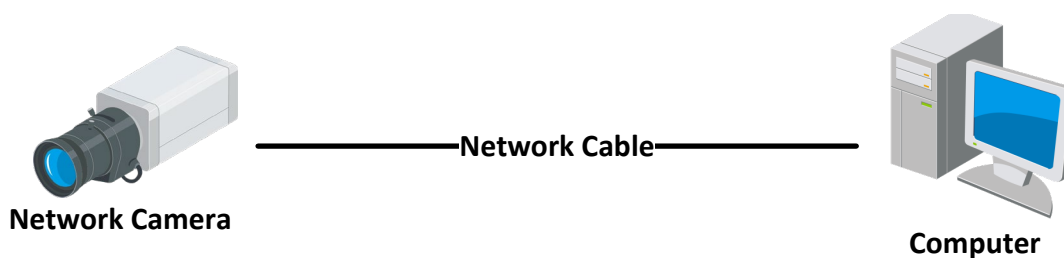


Figure 3-1 直接接続

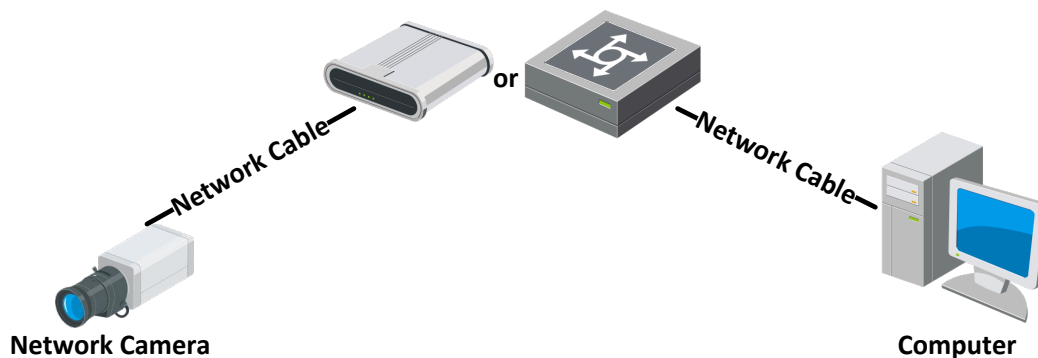


Figure 3-2 スイッチまたはルーターを介した接続

3.2 カメラの起動

目的:

カメラを使用する前に、まず強力なパスワードを設定してカメラを起動する必要があります。

Web ブラウザによる起動、SADP による起動、クライアント ソフトウェアによる起動がサポートされています。カメラによる起動の例として、SADP ソフトウェアによる起動と、Web ブラウザによる起動を説明します。

注記:

クライアント ソフトウェアによる起動の詳細については、ネットワーク カメラのユーザーマニュアルを参照してください。

3.2.1 Web ブラウザによる起動

ステップ:

1. カメラの電源をオンにします。カメラをコンピュータまたはコンピュータが接続されているスイッチ/ルーターに接続します。
2. Web ブラウザのアドレス バーに IP アドレスを入力し、起動インターフェースを表示します。

注記:

- カメラのデフォルトの IP アドレスは 192.168.1.64 です。
- コンピュータとカメラは同じサブネットに属している必要があります。
- カメラの DHCP をデフォルトで有効にするには、SADP ソフトウェアを使用して IP アドレスを検索する必要があります。

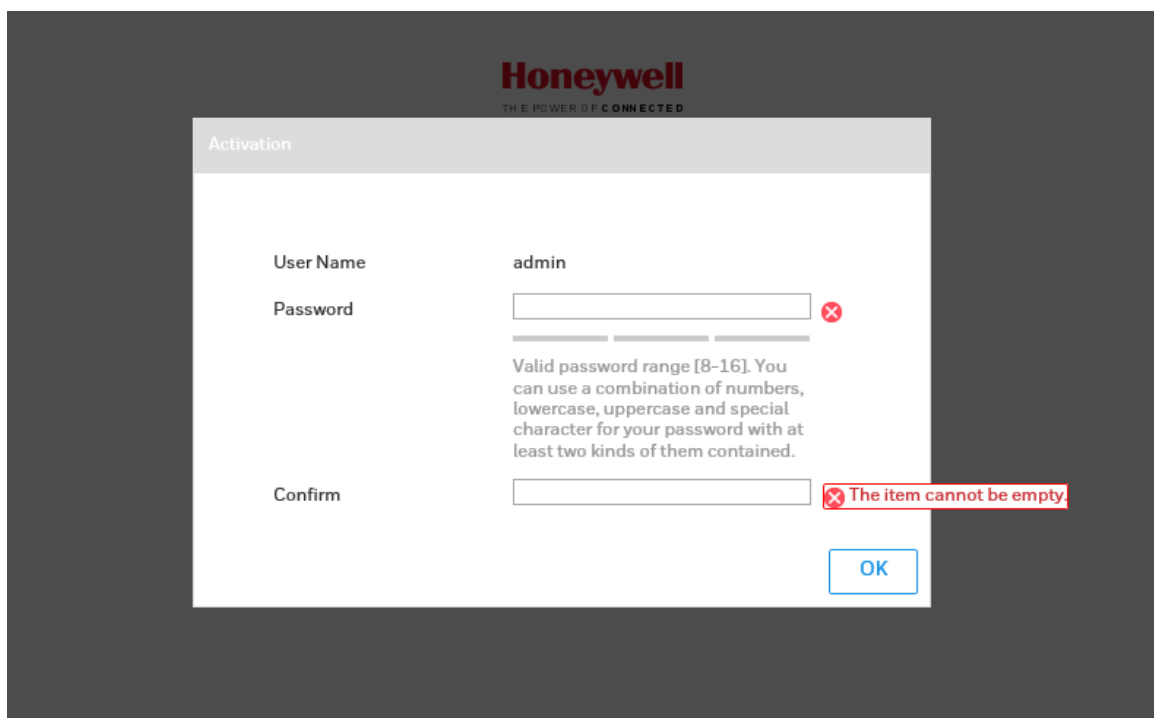


Figure 3-3 起動インターフェース (Web)

3. パスワードを作成し、パスワード フィールドにパスワードを入力します。

⚠️ 強力なパスワードの推奨—強力なパスワードを作成して (大文字、小文字、数字、特殊文字からの3 つ以上のカテゴリを含む8 文字以上を使用)、製品のセキュリティを強化することを強くお勧めします。また、パスワードは定期的リセットすることをお勧めします。特に、高いセキュリティが必要なシステムでは、毎月または毎週パスワードをリセットすることで、製品の保護を強化できます。

4. パスワードを確定します。
5. **OK** をクリックしてカメラを起動し、ライブ ビュー インターフェースを表示します。

3.2.2 SADP ソフトウェアによる起動

SADP ソフトウェアは、オンライン デバイスの検出、カメラの起動、パスワードのリセットに使用します。提供されたディスクまたは公式 Web サイトから SADP ソフトウェアを入手し、プロンプトに従って SADP をインストールします。

次の手順に従って、カメラを起動します。

ステップ:

1. SADP ソフトウェアを実行して、オンライン デバイスを検索します。
2. デバイス リストからデバイス ステータスを確認し、起動していないデバイスを選択します。

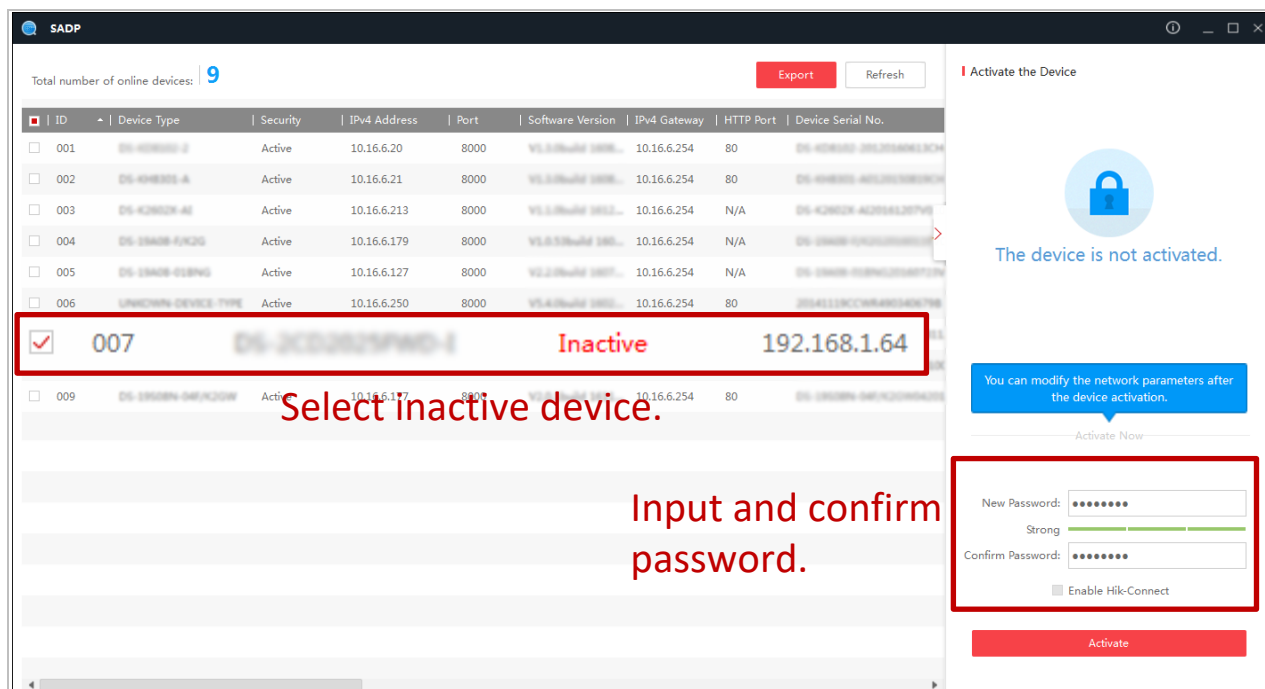


Figure 3-4 SADP インターフェース

注記:

SADP ソフトウェアでは、カメラを一括で起動することがサポートされています。詳細については、SADP ソフトウェアのユーザーマニュアルを参照してください。

3. パスワードを作成し、パスワード フィールドにパスワードを入力して、パスワードを確定します。

⚠️ 強力なパスワードの推奨—強力なパスワードを作成して (大文字、小文字、数字、特殊文字を含む 8 文字以上を使用)、製品のセキュリティを強化することを強くお勧めします。また、パスワードは定期的リセットすることをお勧めします。特に、高いセキュリティが必要なシステムでは、毎月または毎週パスワードをリセットすることで、製品の保護を強化できます。

4. Activate[起動]をクリックしてパスワードを保存します。

注記:

起動が完了したかどうかは、ポップアップ ウィンドウで確認できます。起動に失敗した場合は、パスワードが要件を満たしていることを確認してから、もう一度やり直してください。

3.3 IP アドレスの変更

目的:

LAN (ローカル エリア ネットワーク) 経由でネットワーク カメラを表示して設定するには、同じサブネット内のネットワーク カメラを PC に接続する必要があります。

SADP ソフトウェアまたはクライアント ソフトウェアを使用して、デバイスの IP アドレスを検索および変更します。IP アドレスの変更の例として、SADP ソフトウェアを使用した IP アドレスの変更を紹介します。

注記:

クライアントソフトウェアを使用した IP アドレスの変更については、クライアントソフトウェアのユーザーマニュアルを参照してください。

ステップ:

1. SADP ソフトウェアを実行します。
2. 起動しているデバイスを選択します。
3. IP アドレスを手動で変更するか、**Enable DHCP[DHCP を有効にする]**チェックボックスをオンにして、デバイスの IP アドレスをコンピュータと同じサブネットに変更します。

Modify Network Parameters

Enable DHCP
 Enable Hik-Connect

Device Serial No.:

IP Address:

Port:

Subnet Mask:

Gateway:

IPv6 Address:

IPv6 Gateway:

IPv6 Prefix Length:

HTTP Port:

Security Verification

Admin Password:

[Modify](#)

[Forgot Password](#)

Figure 3-5 IP アドレスを変更する

4. 管理者パスワードを入力し、**Modify[変更]**をクリックして、IP アドレスの変更を有効にします。IP アドレスの一括変更は SADP でサポートされています。詳細については、SADP のユーザーマニュアルを参照してください。

4 Web ブラウザによるアクセス

システム要件：

オペレーティングシステム：Microsoft Windows XP SP1 以降のバージョン

CPU：2.0 GHz 以上

RAM：1G 以上

ディスプレイ：解像度 1024 × 768 以上

Web ブラウザ：Internet Explorer 8.0 以降のバージョン、Apple Safari 5.0.2 以降のバージョン、Mozilla Firefox 5.0 以降のバージョン、および Google Chrome 18 以降のバージョン

ステップ：

1. Web ブラウザを開きます。
2. ブラウザのアドレス バーにネットワーク カメラの IP アドレスを入力し、ログインインターフェースを表示します。

注記：

デフォルトの IP アドレスは 192.168.1.64 です。IP アドレスをコンピュータと同じサブネットに変更することをお勧めします。

3. ユーザー名とパスワードを入力します。

管理者ユーザーは、デバイスアカウントとユーザー/操作者の権限を正しく設定する必要があります。不要なアカウントとユーザー/操作者権限を削除します。

注記：

管理者ユーザーがパスワード入力に 7 回（ユーザー/作業者の場合は 5 回）失敗すると、デバイスの IP アドレスがロックされます。

4. **Login[ログイン]**をクリックします。

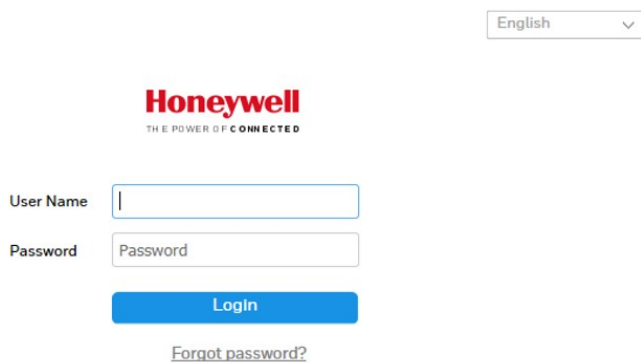


Figure 4-1 ログインインターフェース

5. ライブ ビデオを表示してカメラを管理する前に、プラグインをインストールします。インストールプロンプトに従って、プラグインをインストールします。

注記：

プラグインのインストールを完了するには、Web ブラウザを閉じなければならない場合があります。

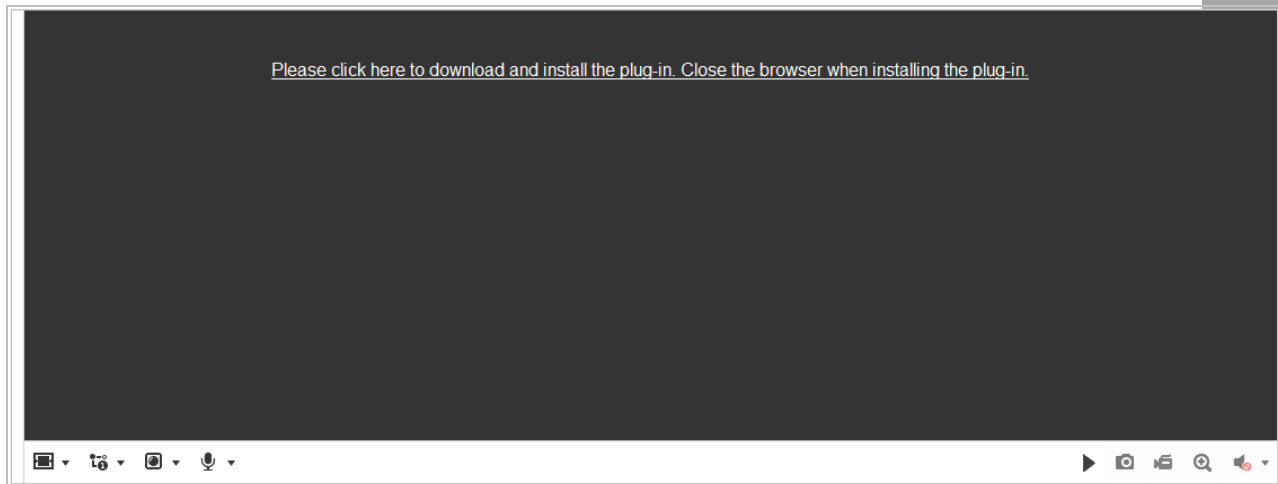


Figure 4-2 プラグインをダウンロードする

6. プラグインのインストール後に Web ブラウザを再度開き、手順 2~4 を繰り返してログインします。

注記：

詳細な設定手順については、ネットワーク カメラのユーザーマニュアルを参照してください。